

自治体名	東かがわ市教育委員会 担当課：学校教育課 電話番号：0879-26-1237
------	-------------------------------------------

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	3校	② 生徒数	1525人	③ 部活動数	38部活
--------	----	-------	-------	--------	------

1.2 地域における現状・課題

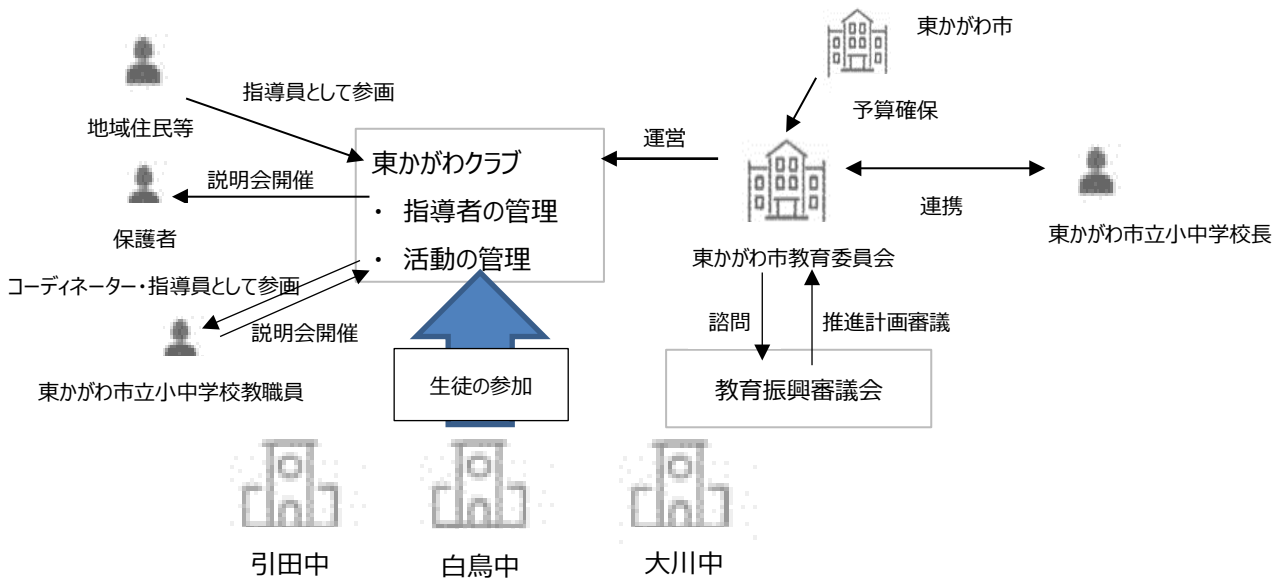
東かがわ市立小中学校において、毎年50人近く小中学生数が減少している。市内で少子化が一層進む中、「学校単位」で活動し、「教員が指導」を担うことを前提とした「学校部活動」という仕組みを維持することは限界がきている。小中学生が減少した中でも、市内3中学校すべての生徒にスポーツに関わる機会を保障するためには、地域でスポーツに親しめる環境を新たに構築していく必要がある。

1.3 実践研究における取組目標

複数校による合同部活動と東かがわクラブの結成による地域移行の推進モデルを構築し、地域に根ざした生涯学習の拠点とする。

- ・ 指導者の有効活用と部員不足の解消
- ・ 指導者の負担や責任を軽減する体制づくり（市、学校、保護者、各種スポーツ団体の役割分担）
- ・ 地域との連携による生涯学習活動の活性化

1.5 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

地域クラブ活動の運営を担う団体として東かがわクラブを創設し、令和5年度よりクラブとしての活動を開始する。準備のための諮問機関として、教育振興会議を開催する。令和4年度は仮事務局が運営基盤となり、指導者の調整や中学校との連絡調整を行う。地域移行に向け、優先度の高い種目から、種目毎に保護者懇談会や学校部活動顧問懇談会を開催し、保護者及び学校部活動顧問の意見を聞きながら、移行計画を立てていく。

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全3中学校のうち、3校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	20部活
③ 種目	バスケットボール、バレーボール、軟式野球、サッカー、剣道

《主な取組例（１）》…東かがわ市立大川中学校、白鳥中学校、引田中学校

① 種目	軟式野球	④ 参加者数	24人
② 活動日	月・火・木・金・土	⑤ 活動場所	白鳥中学校グラウンド
③ 指導者人数	10人	⑧ 謝金単価(1人あたり)	兼職兼業教職員：1,600円/時間 外部指導者：1,600円/時間
④ 指導者属性	市内小中学校教職員、卒業生、大学生		
⑤ 参加会費の有無・金額	徴収なし		
⑥ 移動手段	白鳥中学校以外の生徒については、市教委がスクールバスを有効利用して送迎を実施する。		
⑦ 合同チームとしての大会参加状況	合同チームとして、競技団体主催の大会に1回参加		

《主な取組例（２）》…東かがわ市立大川中学校、白鳥中学校、引田中学校

① 種目	剣道	④ 参加者数	16人
② 活動日	月1回 日	⑤ 活動場所	大川中学校剣道場
③ 指導者人数	5人	⑧ 謝金単価(1人あたり)	兼職兼業教職員：1,600円/時間
④ 指導者属性	市内小中学校教職員		
⑤ 参加会費の有無・金額	徴収なし		
⑥ 移動手段	白鳥中学校以外の生徒については、市教委がスクールバスを有効利用して送迎を実施する。		
⑦ 合同チームとしての大会参加状況	合同チームとして、競技団体主催の大会には参加していない。		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者、地域住民等）

地域クラブ活動のレクリエーション的な活動（剣道教室）に参加していた中学生及び地域スポーツ少年団に所属する子ども（就学前含む）の保護者にアンケートへの協力依頼を行い、9名の保護者から回答を得た。

【保護者からの回答】

- ・ 中学生が市内で一団体としてチームが作れることには賛成です！来年度も楽しみにしております。よろしく願い致します。
- ・ とても良い取り組みだと思います。先生にとっても熱心に指導していただき、子どももとても興味を持って取り組んでいます。少子化が顕著になっており、社会の変化、や環境にあった移行の仕方でありと思います。

3.3 各実践校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

軟式野球競技では、平日「学校部活動（以下 部活動）」、休日は「地域クラブ活動（以下 クラブ）」として活動している。

平日の部活動指導は、中学校の教員（以下 A教諭）が行い、休日の指導については望んでいないため、関わっていない。休日のクラブ指導は、地域の指導者（以下 クラブ指導者）複数名が行っている。クラブ指導者は平日仕事をしており、部活動指導に参加するのは難しい。平日の部活動指導者と休日クラブ指導者との連携、情報共有ができない。

解決方法としては、情報共有の目的で月1回程度、休日の活動に部活動指導者を派遣してもらう仕組みを検討していく。実際に顔を合わせての協議を行わないと、両者間に信頼関係を築くことはできない。事務局が学校と連携ながらコーディネートを行う。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

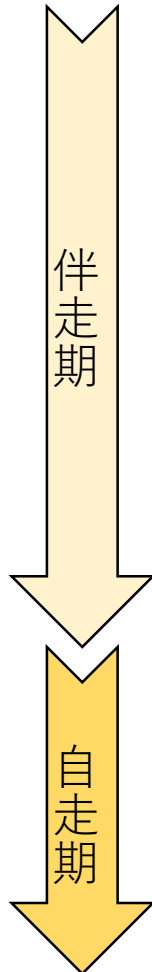
従来の、競技・大会志向で特定の種目や分野に、継続的に専念する活動だけでなく、〇〇教室といったレクリエーション的な活動として、クラブイベントを新規に施行した。主にスポーツ少年団と連携しての活動になったが、生涯学習的な視点からの活動を行うことができた。

複数の種目でコーディネーターを配置し、学校と地域の連携を行うことができた。保護者懇談会を種目毎に開催し、事業の周知及び保護者の意見を聞きながら、組織運営をしていくスキームをつくることができた。

4.2 地域連携・地域移行における今後の課題

生徒や保護者を始め、学校部活動を取り巻く状況について、多様な関係者において共通理解を得られるよう意識変革を促し、当事者意識を醸成すること。また、持続可能な組織運営を保障するために、指導者の確保及び管理体制を整備することが喫緊の課題である。

休日の学校部活動の段階的な地域移行スキーム



準備期間（期間：1年～1年半）

- 市内3中学校での合同部活動の実施
- 保護者懇談会における意見交換
- クラブイベントの実施と指導者の確保及び組織づくり

移行期間（期間：1年～3年）

- 休日における地域移行の完了
- 保護者説明会における組織運営について説明及び保護者会の設立
- 平日に指導している部活動顧問又は部活動指導員が主に指導

調整期間（期間：1年～3年）

- 平日における地域移行に取りかかる
- 学校教育と地域クラブ活動の関係づくり
- 休日における活動においては、地域クラブ指導員が自立して指導

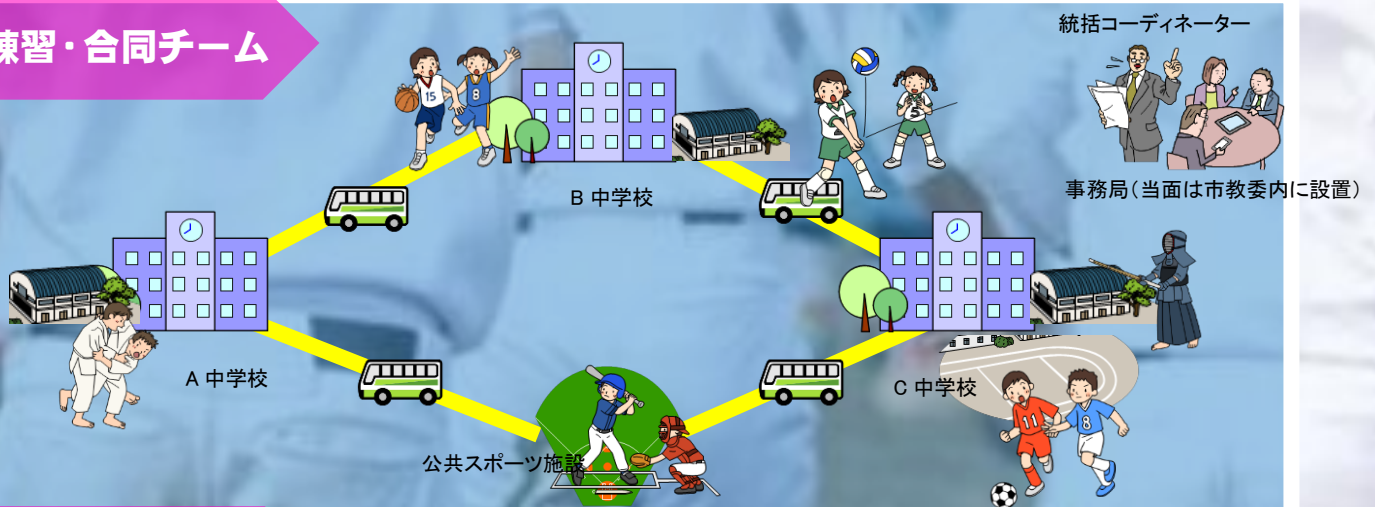
小さなまちでもいろいろな部活がしたい！
子どもたちの「やる気」を大切にしたい！

東かがわ市教育委員会

部活動イノベーション

学校単位にとらわれず、学校と地域が協働する活動をめざして

合同練習・合同チーム



地域部活動への移行

月 火 水 木 金 土 日

学校部活動

学校部活動

(休み)

学校部活動

学校部活動

地域クラブ活動

(土日いずれか1日)

学校部活動

クラブイベント

(部活動のない日に月1回程度)

事務局から派遣された指導者が指導します。参加費は当面、市が補助します。野球・男子バレー等から段階的に移行します。

今までの部活動と同様に学校の先生が指導しますが、令和8年度までの地域移行を目指しています。

事務局が運営するレクリエーション的な活動です。申し込みが必要ですが、普段所属している部活動の種目にとらわれず参加できます。中学生だけでなく小学生の参加も考えています。指導者は、事務局から派遣し、当面、参加費は市が補助します。剣道、バスケットボールなど土日に学校部活動で活動中の種目も実施しています。

今後の見通し: 少子化のため学校単位の部活動運営は限界にきています。国の計画では令和8年度までにすべての部活動を地域に移行するのが目標になっています。東かがわ市の学校部活動も、段階的に移行していきます。

地域クラブ活動に関するアンケート ト（保護者用）

剣道教室に御参加いただきありがとうございます。アンケートへの御協力をお願いします。

* 必須

1. お子さまの年齢について教えてください。 *

- 中学生
- 小学生
- 小学生入学前
- その他

2. 休日における学校の部活動が、令和5年度以降、段階的に地域に移行することを知っていますか。 *

- はい
- いいえ

3. お子さまは剣道教室に関して、意欲的に取り組んでいた様子ですか。

*

- とても意欲的に取り組んでいた
- 意欲的に取り組んでいた
- あまり意欲的に取り組んでいなかった
- その他

4. 部活動が地域移行することで、期待される効果について、すべて選んでください。 *

- 専門の指導者が指導してくれる
- まとまった人数で練習をすることで練習が充実する
- 人数が少ないことで試合（団体戦）に出場できなくなることがなくなる
- 通常の練習に加えて、剣道教室など多年齢間で交流する機会が増える
- 特にない
- 選択できるスポーツや文化活動の種類が増える
- 地域のスポーツや文化活動が活性化する
- その他

5. 部活動が地域移行するにあたり、課題として考えられることを、すべて選んでください。 *

- 活動内の怪我や生徒指導上のトラブルについて
- 休養日の設定について
- 月謝等保護者負担の増加について
- 指導者の確保について
- その他

6. 休日部活動の地域移行について意見があれば書いてください。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

地域クラブ活動に関するアンケート（保護者用）

9

応答

02:12

完了するのにかった平均時間

アクティブ

状態

1. お子さまの年齢について教えてください。

● 中学生	5
● 小学生	3
● 小学生入学前	1
● その他	0



2. 休日における学校の部活動が、令和5年度以降、段階的に地域に移行することを知っていますか。

● はい	8
● いいえ	1



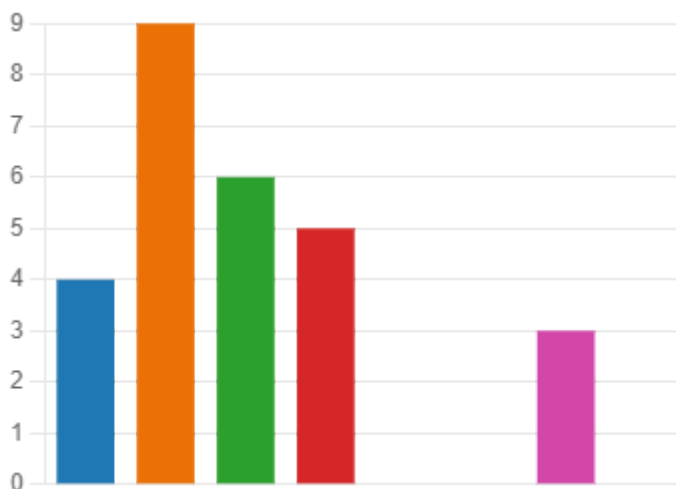
3. お子さまは剣道教室に関して、意欲的に取り組んでいた様子ですか。

● とても意欲的に取り組んでいた	8
● 意欲的に取り組んでいた	1
● あまり意欲的に取り組んでいなかった	0
● その他	0



4. 部活動が地域移行することで、期待される効果について、すべて選んでください。

● 専門の指導者が指導してくれる	4
● まとまった人数で練習をすることで練...	9
● 人数が少ないことで試合（団体戦...)	6
● 通常の練習に加えて、剣道教室な...	5
● 特にない	0
● 選択できるスポーツや文化活動の種...	0
● 地域のスポーツや文化活動が活性...	3
● その他	0



5. 部活動が地域移行するにあたり、課題として考えられることを、すべて選んでください。

● 活動内の怪我や生徒指導上のトラ...	3
● 休養日の設定について	1
● 月謝等保護者負担の増加について	2
● 指導者の確保について	4
● その他	1



6. 休日部活動の地域移行について意見があれば書いてください。

2
応答

最新の回答

"とても良い取り組みだと思います。先生にとっても熱心に指導していた..
